

城乾コミュニティ

まつりを通して深まる絆きずな

城乾コミュニティでは、毎年6月の第1週目に「ふれあいまつり城乾」を開催しています。毎年1000人以上が参加するまつりの魅力を紹介します。

まちを挙げてのおまつり

「ふれあいまつり城乾」は、城乾小学校・西幼稚園・城乾コミュニティセンターの各施設と、通行



しおや保育所のエイサー披露

花鉢を毎年楽しみに

止めにした歩行者天国の道路などで行われます。地元園児らによる踊り、ビンゴゲーム、生涯学習クラブの展示・発表など、毎年多彩な催しがあり、屋台や体験コーナーも楽しめます。今年で20周年の節目を迎え、地域の人が楽しめるまつりとして親しまれています。

まつりの当日、地域のお年寄り



大人気の花鉢プレゼント

が育てた花を約300鉢準備して、参加者にプレゼントする催しがあります。女性や年配の人を中心に大変人気があり、配布時間の30分ぐらい前からずらっと行列ができます。配布を開始すると、あつという間に配布が終了する300の花鉢。皆さんの家庭で大切に育てられていることでしょう。

外国人も多く参加

城乾小学校の外国にルーツのある児童の割合は、市内で最も高く約2割です。日本人と外国人の間には、言葉や文化の違いによる目に見えない壁があるとされます。子ども同士にはそのような壁はあまり無く、仲良くできるようですが、大人同士にはまだ壁があるようです。

まつりの日は「香川まるがめ子



地域力を高める

ふれあいまつり城乾
実行委員長
細谷 郁夫さん

毎年まつりの催しを考えると、参加型のイベントを意識しています。うどん早食い大会やクイズラリーなどで、参加者が楽しんでいる様子を見られたらうれしいです。また、地域に関するウルトラクイズは、神社や太助灯籠など地域の問題を出すことで、地域のことをもっと知り、好きになってもらいたいという思いで企画しています。

防災やまちづくりの観点でよく言われますが、「地域の課題は地域の人で協力して解決する」という考え方が大切です。まつりの中で地域の人同士の絆をしっかりと作り、地域力を高められるよう、取り組んでいきたいと思っています。



にほんごひろばで交流

どもにほんごひろば」の交流スペースが設けられ、ゲームやお話を通して交流を深めています。まつりを通してお互いのことを知り、日本人と外国人の垣根を越えるきっかけになることもあります。時代とともにまつりの運営を少しずつ変化させながら、地域の人々が楽しめるよう、城乾コミュニティの取り組みは続きます。